

目的・目標

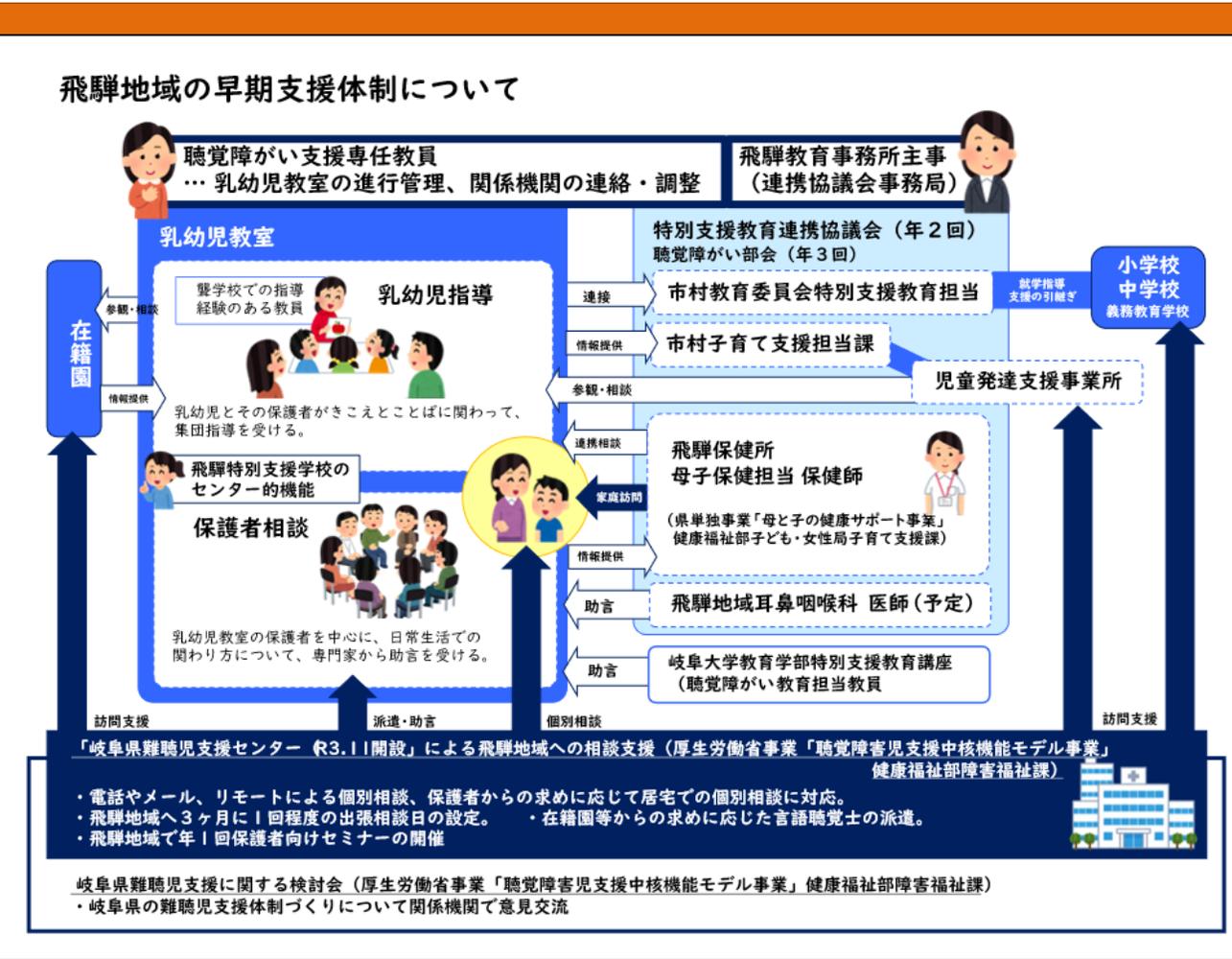
- 県内の聴覚障がいの専門的な医療・療育・教育機関のある岐阜市から遠距離にある地域における乳幼児からの切れ目のない聴覚障がい支援体制の構築

研究協力校

- ・岐阜県立岐阜聾学校 (聴覚障がい)
- ・岐阜県立恵那特別支援学校 (知的障がい 肢体不自由 病弱)
- ・岐阜県立飛騨特別支援学校 (知的障がい 肢体不自由 病弱)

取組概要

- ・乳幼児教室の開催や地域の関係機関と連携した教育相談の機能強化
- ・保健、医療、福祉の関係者と連携した支援体制の構築
- ・飛騨地域における成果や知見を東濃地域に周知。教育相談や園校への訪問支援、教職員を対象とした研修等の実施。



①特別支援学校（聴覚障害）を中核とした教育相談の機能強化

- ・飛騨特別支援学校における乳幼児教室の開催
- ・保護者を対象とした相談会の実施
- ・保護者同士がつながり、学び合う場の設定
- ・岐阜県難聴児支援センターと連携した教員を対象とした研修会の開催



ひだ難聴乳幼児教室における
絵本の読み聞かせ



ひだ難聴乳幼児教室における
「先輩保護者と語ろう会」

②特別支援学校（聴覚障害）における乳幼児教育相談担当者の専門性向上

- ・医師や言語聴覚士、当事者等を講師に迎えた研修の実施
- ・岐阜聾学校と連携した専門性の向上
- ・地域の療育機関、幼稚園、小学校等への情報提供による、地域全体の専門性の向上

③幼稚園、小学校等における支援の質向上

- ・教員を対象とした研修の実施
- ・地域の園校への電話相談や訪問支援
- ・保健、医療、福祉の関係者による情報共有や連携した支援



補聴器体験とワークショップの実施

本事業
の成果

- ・ 飛騨地域において、飛騨特別支援学校による、乳幼児教室及び保護者を対象とした相談会を継続的に実施したことで、難聴乳幼児の保護者が相談できる場が身近にでき、難聴乳幼児への関わり方について学んだり、保護者同士のネットワークを築いたりすることができ、地域における相談体制の構築ができた。
- ・ 飛騨地域において、飛騨地域特別支援教育連携協議会聴覚部会において、岐阜県難聴児支援センターによる医療機関等への啓発、各市村の保健師等への啓発等を行い、保健師等と連携した支援ができた。
- ・ 飛騨地域において、医師や言語聴覚士、岐阜聾学校の教員による教員を対象とした研修会の実施や専門家の助言を交えた相談支援によって専門性の向上を図り、さらに聴覚障がい支援専任教員による療育機関や保育園等への助言を通して地域全体の支援の専門性の向上につながった。
- ・ 東濃地域、飛騨地域において、恵那特別支援学校及び飛騨特別支援学校の聴覚障がい支援専任教師による域内の幼稚園や小学校等へ難聴児への支援に対する助言を行ったり、教員を対象とした研修会を開催したりし、幼稚園や小学校などにおける支援の質の向上を図るとともに、関係者のネットワークの構築を図ることができた。

課題と
今後の
展望

- ・ 飛騨地域において構築された相談体制を東濃地域においても構築していく必要があり、東濃地域の地域性を踏まえた相談体制の構築に向け、難聴児支援センターと連携しながら、ニーズを把握する必要がある。
- ・ 岐阜市から遠方にある東濃地域、飛騨地域にける支援体制を維持していくために、岐阜聾学校のセンター的機能の積極的な活用や教員の育成を図っていく必要がある。